

2020年度

(医学部看護学科第3年次編入学)

問題冊子

| 教 科 等 | ページ数 |
|-------|------|
| 小 論 文 | 3 |

試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。

解答の書き方

1. 解答は、すべて別紙解答用紙の所定欄に、はっきりと記入すること。
2. 解答を訂正する場合は、きれいに消してから記入すること。
3. 解答用紙には、解答と受験番号のほかは、いっさい記入しないこと。

注 意 事 項

1. 試験開始の合図の後、解答用紙（2枚）に受験番号を必ず書くこと。
2. 問題の内容についての質問には、いっさい応じないが、その他の用事があるときは、だまって手をあげて、監督者の指示を受けること。
3. 試験終了時には、解答用紙を机上に置くこと。
4. 試験終了後、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ること。

問題 1

問 1 麻疹の感染経路について、簡潔に記述しなさい。

問 2 以下の麻疹患者報告数に関する図 1、図 2 を見てわかることを箇条書きで記述しなさい。

なお 2015 年に WHO：世界保健機構は、日本の麻疹が排除状態であることを認定している。また図 2 については、東京都以外で麻疹が報告されている道府県においても、同様な傾向であると考えてよい。

問 3 わが国において麻疹感染者の増加を防ぐためにはどうすべきか、300 字以内で記述しなさい。

図 1 麻疹累積報告数の推移 2013～2019年（第1～22週）

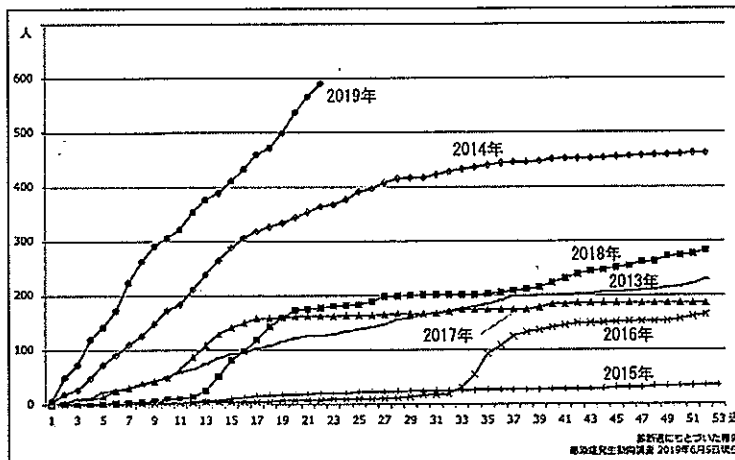


図 2

年齢階級別・ワクチン接種歴別報告数（東京都）
2019年1～25週（～6/23）累計100人

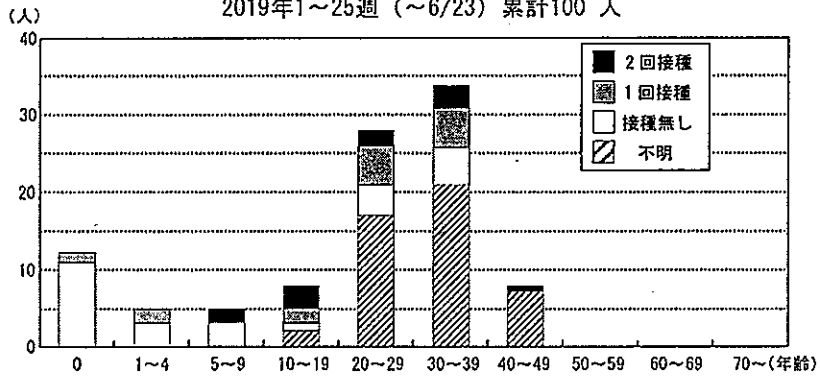


図 1 「国立感染症研究所 感染症発生動向調査（麻疹）」より引用

図 2 「東京都感染症情報センター 麻疹の流行状況」より引用

問題2 老年看護について、以下の事例を読んで問いに答えなさい。

75歳のAさんは、脳血管障害で右片麻痺が残り、日常生活に介護が必要である。要介護度3であり、介護サービスを利用して、自宅で夫と二人で暮らしている。訪問看護師が訪問時に、夫が「妻が元気がなくなって、食事ほとんど食べない」と訴えた。身体は熱感があり、37.6℃。普段は、Aさんから話しかけてくるのに、名前を呼んでも自発的な発語がなかった。訪問看護師はかかっている医師に連絡し、診察をうけた結果、誤嚥性肺炎と診断されて総合病院に入院となった。

総合病院において治療が行われ、誤嚥性肺炎は改善し、退院できることになった。退院前に、病院のスタッフと在宅で関わるスタッフが集まり、Aさんと夫を交えて退院前カンファレンスが開かれた。

問1 退院前カンファレンスの目的と内容を述べなさい。

問2 Aさんが入院から退院に至る過程で、多くの職種がかかわることを何とというか述べなさい。

問3 病院の看護師の立場で、病院から自宅へ退院するAさんへの退院支援について必要な看護ケアを列挙しなさい。

問4 問3の必要な看護ケアの中から1つを選び、あなたの考えを200字以内で述べなさい。